

お詫びが遅れてしまいましたが、去年は、メルマガ発送が時々スムーズに行かず、メールアドレスの変更の際にも、2～3通発送されてしまったり、内容もメルマガ号番号の間違いや年数の間違いなどの不手際があり、申し訳ありませんでした！

そのような中でも、続けてメルマガを読んで、祈りお支えくださり、またたくさんの励ましや反響の声をお寄せくださり、ほんとうにありがとうございます！おひとりおひとりにお返事を出すことがなかなか出来ません。感謝とともに読ませていただき、皆様の祝福を祈らせていただいています。



1月8日、3ヶ月ぶりにドイツの我が家に戻りました。

先週は祈禱会、また14日の日曜日には、母教会の兄弟姉妹と共に讚美し、礼拝を捧げることができました。日本人は私だけですが、やはりここに帰ると、大きな安堵感と喜びを覚えます。

こちらでは、今まだ、たまっていた郵便物と様々な書類の整理に多くの時間を費やしていますが、それでも、ゆったりと主との交わりの時を持つことが出来るのは、格別の喜びです。聖書を読みながら、以前にも増して、気付かされること、語られることが多く、静けさの中にも、感動的な毎日を過ごしています。

(写真:松林幸二郎さん撮影、スイス・アッペンツェラー、手前の雲の下に家や教会が建っているのがお分かりでしょうか。松林さんは、こんな素晴らしい大自然の中で生活していらっしゃいます。松林さんへ、家が建っているのを皆さんにお見せたくて、いただいた写真をRedaktionしてしまいました。この場をお借りして、お詫び申し上げます)

●讚美コンサートのスタイル

AKMMを設立して以来6年間、誠実な主は絶えず導き、私のその時その時の成長の度合いに応じて、たくさんのお示唆をいただきました。

そして去年は、自分の讚美コンサートのスタイルが見えてきた年でした。

それまで、私は、コンサートに来てくださった方々とコミュニケーションを取るために、まずヨーロッパのことをご紹介しよう、親近感を勝ち得るために、その土地のことを話そう、などいろいろなプランを考えていました。福音を語る時にも、出来るだけ分かっていただけのように、例話なども挿入してきました。ですから、数年前のコンサートは、2時間に及ぶこともまれではありませんでした。

でも、讚美が御霊に満たされたものである時、多くの人々はそれを聞くだけで心を開くのだ、ということに悟るようになりました。そして、私がみことばに生きて、そのみことばを語らせて頂くとき、そこに御霊が働いて、人々にそのみことばをもってふれてくださることを見てきました。言い替えれば、人々の心を開き、罪を示し、救いに導いてくださるのは、私の努力ではなく、聖霊の働きである、ということです。

今でも、ヨーロッパのことをご紹介することもありますし、その土地のことをお話しすることもあります。でも、動機が変わってきました。今は、神ご自身が働いてくださるのだから、私は、神が自由に用いて下さるしもべとしてすべてを委ね、主の導きの御手の中で、愛をもって語り讃美させていただけるようになってきたと思います。

「もし私がいまなお人の歓心を買おうとするようなら、私はキリストのしもべとは言えません。」(ガラテヤ 1:10)

今なお、そしてこれからも、このみことばと共に立ち止まり、自分を吟味してゆかねばならないと思っています。

●「アウシュヴィッツとバッハとルターのふるさとを訪ねる旅」

AKMM では、4月11日～21日、「アウシュヴィッツとバッハとルターのふるさとを訪ねる旅」ツアーを企画しています。内容は以下の通りです。また、チラシを添付させていただきましたので、プリントアウトして教会や興味のある方にお知らせいただければ感謝です。

皆様のご参加をお待ちしております。

4月11日(水) 関西空港出発ーフランクフルト経由ーワルシャワ(ルフトハンザ機)

4月12日(木) クラカウ、チェストオーバーのヤナニグラ修道院訪問

4月13日(金) アウシュヴィッツ、ビルケナウ収容跡視察、クラカウ市観光

4月14日(土) 移動日(クラカウからワルシャワまでバスでーそこからミュンヘン経由でベルリンに入る)

4月15日(日) ベルリン、ホテルにて礼拝、ベルリン市内観光(ペルガモ博物館、ブランデンブルク門、ポツダム観光)

4月16日(月) ヴィッテンブルク市内観光(宗教改革発祥の地、ルターがヴィッテンブルク城教会の門に「95カ条提題」を打ち付けた)

アイスレーベン(ルターの生まれ故郷)

4月17日(火) ライツィヒ市内観光(バッハ博物館、バッハがカントールを務めたトマス教会など)

ワイマール観光(ゲーテの家など)

4月18日(水) ドルンハイムのバルトロメウス教会(パイプオルガン特別演奏会手配中)

4月19日(木) アイゼナハ(バッハの生誕の町、ルターが聖書を翻訳したヴァルトブルク城がある)市内観光

4月20日(金) フランクフルトからルフトハンザ機で帰国

4月21日(土) 関西空港着

費用 お一人 445,000円(一人部屋追加料金 68,000円)

日程表における、航空運賃、バスなど乗り物料金、ホテル代、入場料 機内食を除く全食事

<料金に含まれない主なもの>

1. 日本国内空港利用料、出国税、燃油チャージなど 約 38,000円

2. 海外旅行傷害保険料 加入者のみ

*できるだけ早くお申し込み下さい。お申し込みいただいた後、申込書をお送りさせていただきます。

* お申し込みは、ミッション宣教の声内「AKMM事務局」: 中川迄

連絡先: 電話 06-6226-1334 ファックス 06-6226-1336 携帯 090-8123-7562

* 個人的に、100万人以上のユダヤ人を始め多くの人々が虐殺されたアウシュヴィッツ・ビルケナウ絶滅収容所は、皆さんに是非一度見ていただきたいと思っている重要な場所です。また、ベルリンのペルガモ博物館では、文明の支配者である「この世の神」「暗闇の力」の現実を知っていただきたいと願っています。そして、宗教改革者マルティン・ルターと、信仰をもって教会音楽の頂点を築いたバッハのゆかりの地を訪問したいと思っています。

暖冬のドイツも、今週は 10 度以下と少しずつ気温が下降してきたようです。

皆様もどうぞ風邪などお召しにならないよう、健康にはくれぐれもご留意ください。

主の守りと祝福を心よりお祈りしています。

工藤篤子